

特別テーマ展関連講座

—押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界—

講義 3

高瀬山遺跡の調査成果

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

齋藤 主税 氏

平成 30 年 7 月 15 日 (日)

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

高瀬山遺跡の発掘調査

2018. 7. 15



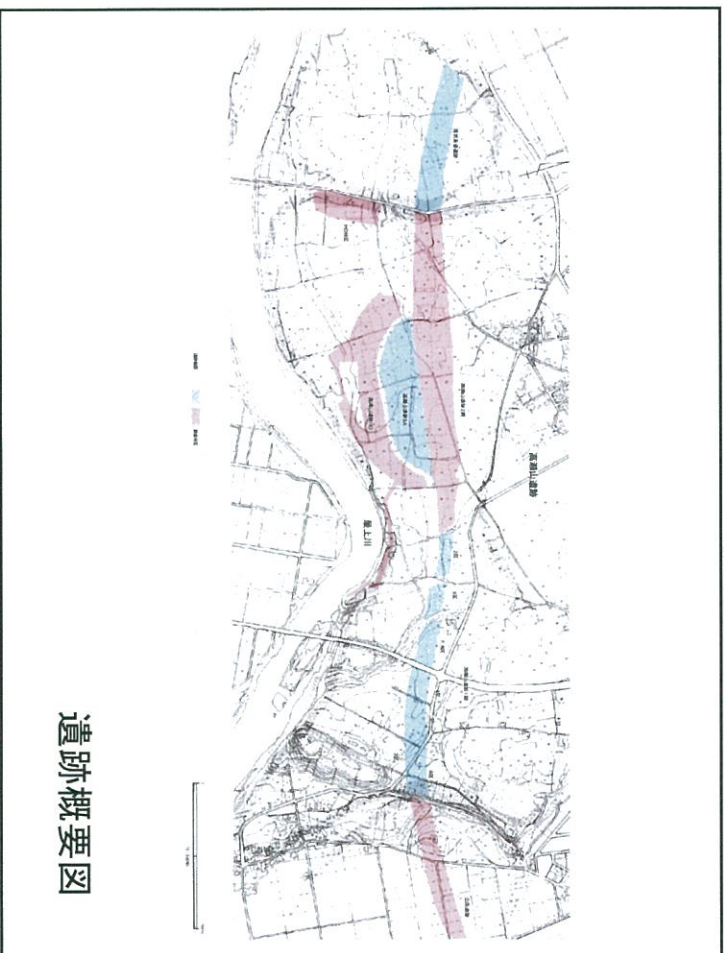
高瀬山1期から最上川・2期・SA・HOを望む(東から)

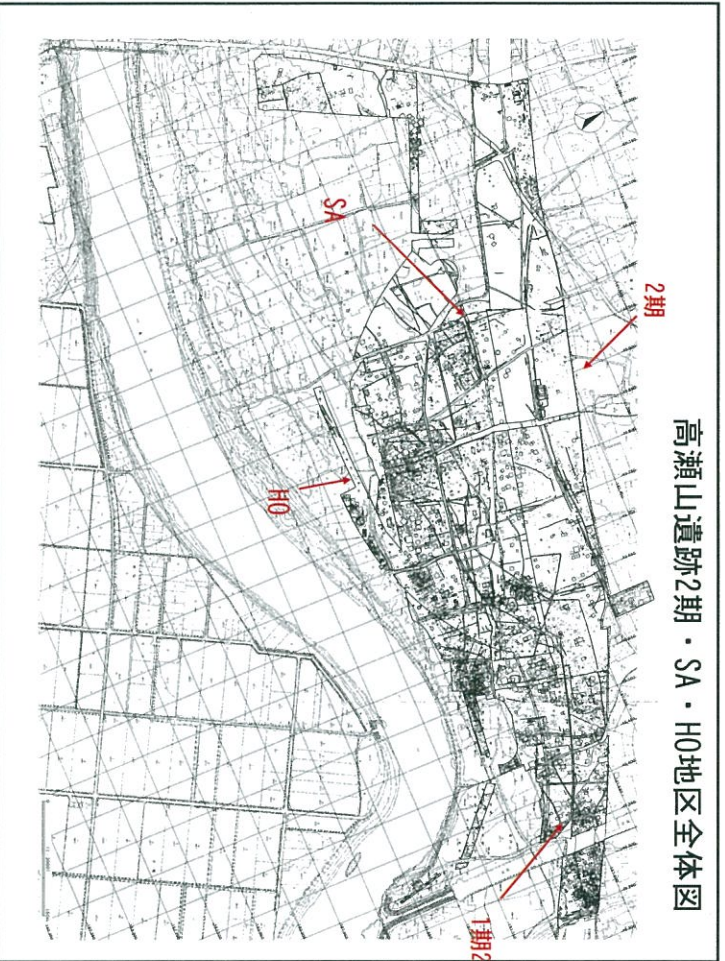
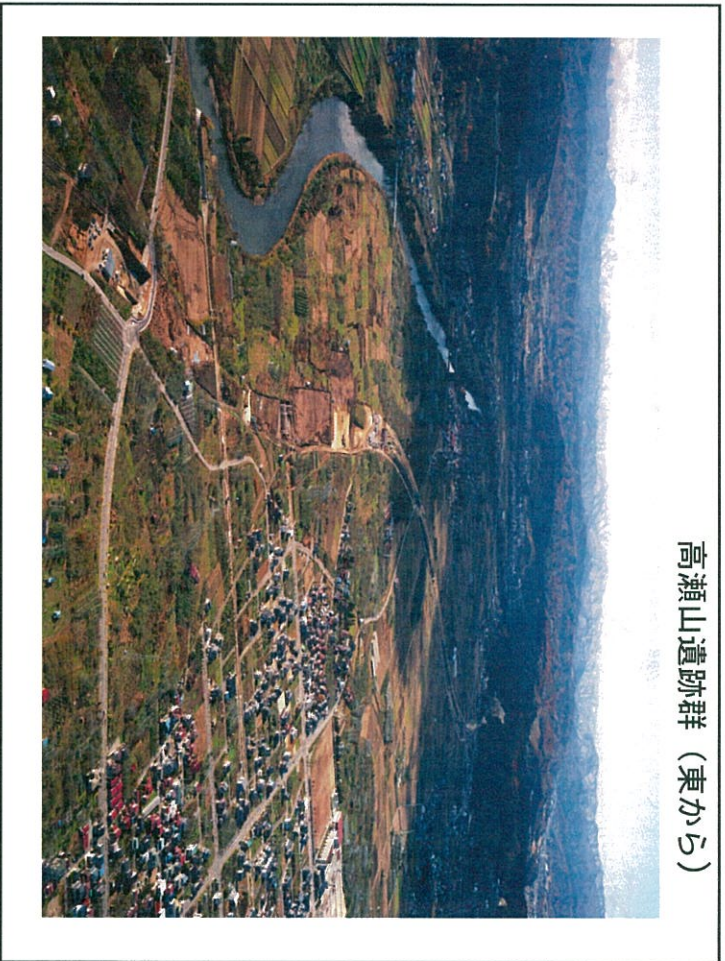
高瀬山遺跡群の調査平成 6～13年

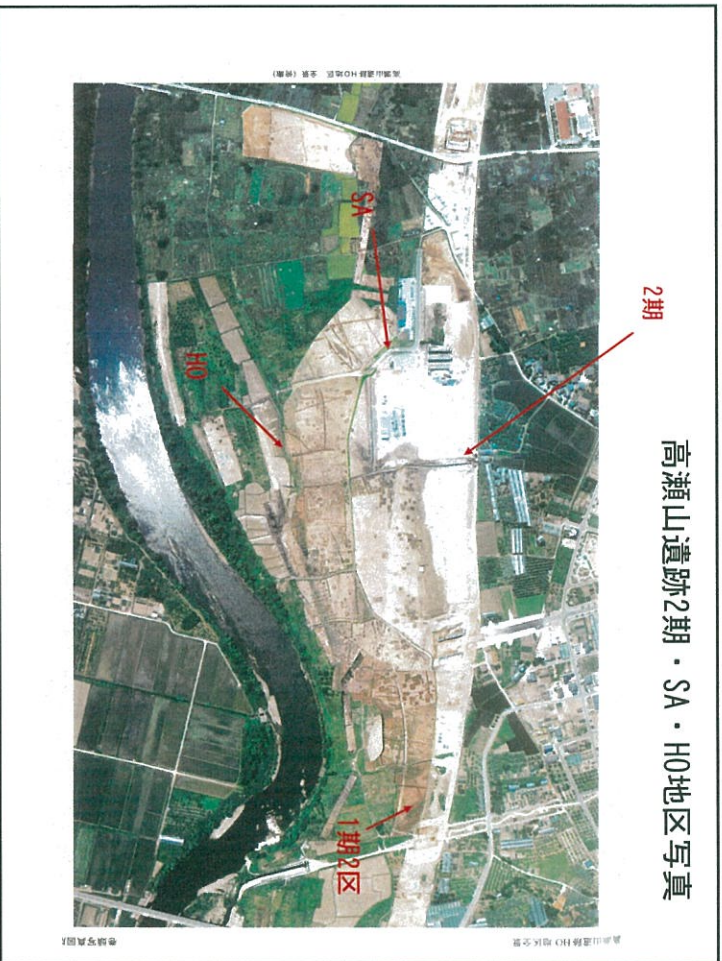
- ・東北横断自動車道路、サービスエリア、最上川ふるさと総合公園整備事業による発掘調査
- ・約21,440㎡以上の面積の調査(隣接遺跡含287,000㎡)
- ・旧石器時代・縄文時代前期～晩期・古墳時代・古墳・奈良時代・平安時代・中世の各時代の遺構が見つかった
- ・縄文時代前期～晩期竪穴住居70軒見つかった
- ・特に奈良時代～平安時代竪穴住居等427軒、掘建柱建物跡204棟、井戸、土坑、溝多数が見つかった
(隣接遺跡合わせると竪穴住居488軒・掘立建物264棟)
- ・遺物の総数3,224箱以上(隣接含3,600以上)



遺跡位置図









高瀬山遺跡H10地区
水場木組遺構4段目縄文時代晩期
トチの実などのあく抜き水さらし場

南北2.8×1.3m



高瀬山1期地区
グリッド配置図

2区遺構全体図

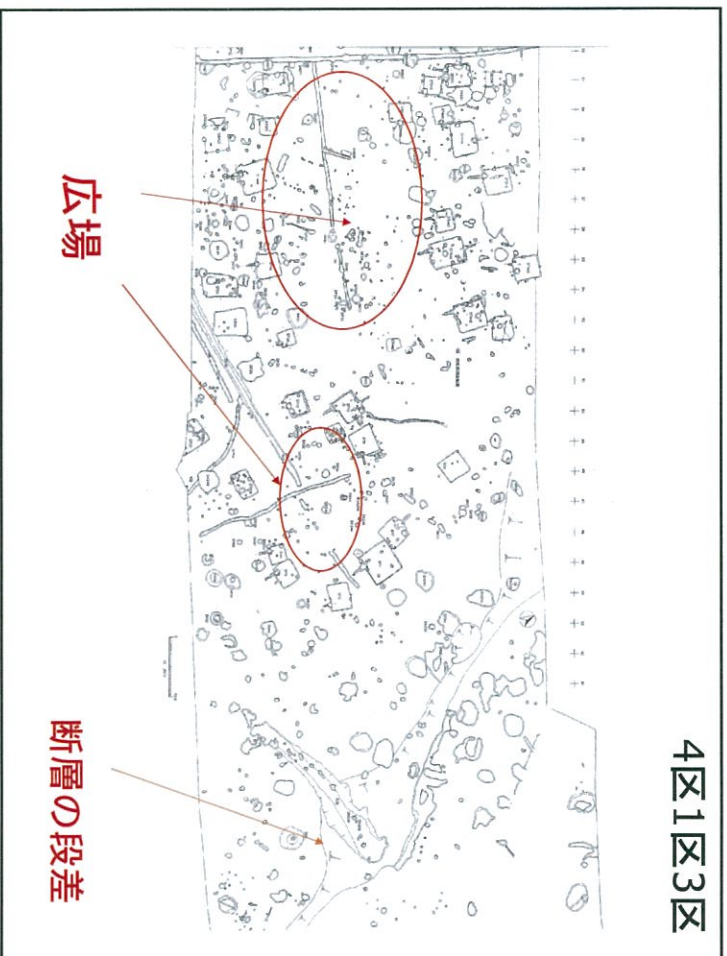
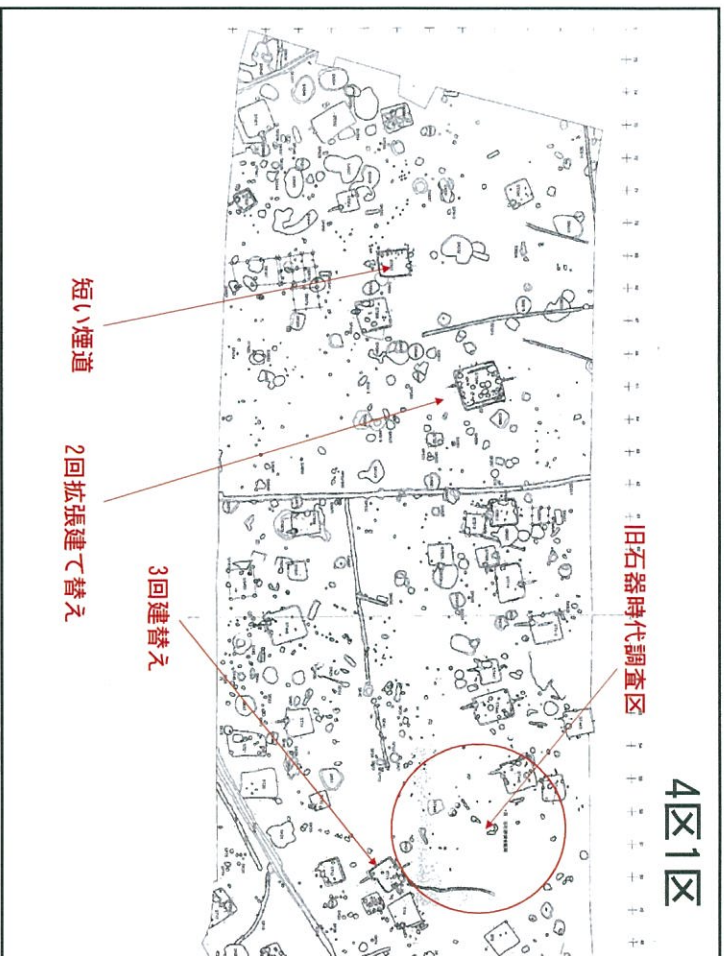


最も西側で高瀬山遺跡2期と隣接地区。
奈良時代～平安時代の竪穴住居・掘立柱建物跡
井戸跡・溝跡がみつかると。

北 高瀬山1期2区







8世紀後半～9世紀前半の
奈良～平安時代竪穴住居群

4区



奈良時代～
平安時代
竪穴住居群
広場
断層



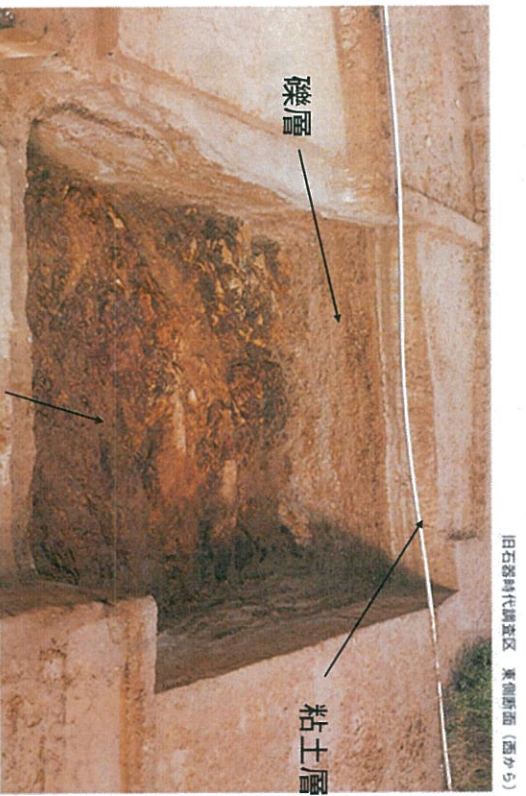
奈良・平安時代遺構密着全景 (西から)

旧石器時代1万3000年～2万5千年前
水性堆積1.6m～2.8m



旧石器時代調査区 東側断面 (西から)

旧石器時代



旧石器時代調査区 北側断面と段丘基盤層 (南から)

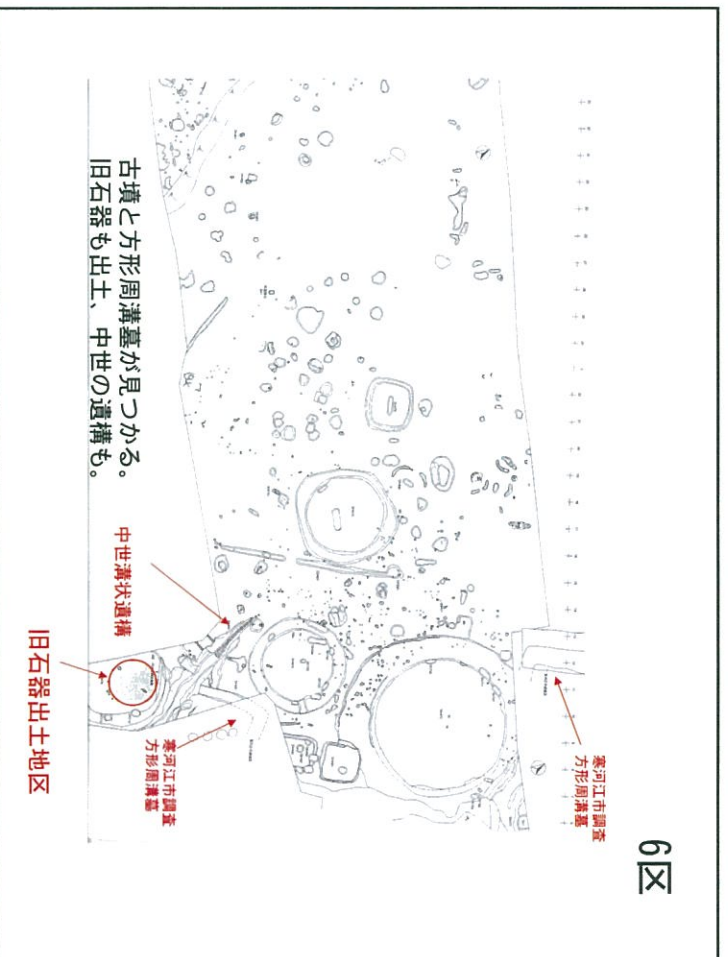
高瀬山遺跡 (断層)

西



黒色部分が断層

6区



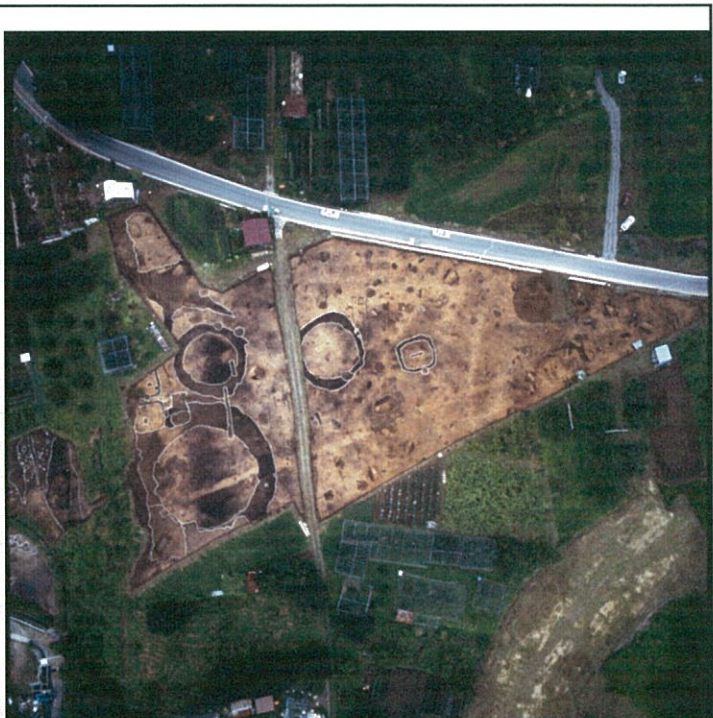
古墳と方形周溝墓が見つかる。
旧石器も出土、中世の遺構も。

中世薄状遺構

旧石器出土地区

美河江市調査
方形周溝墓

美河江市調査
方形周溝墓

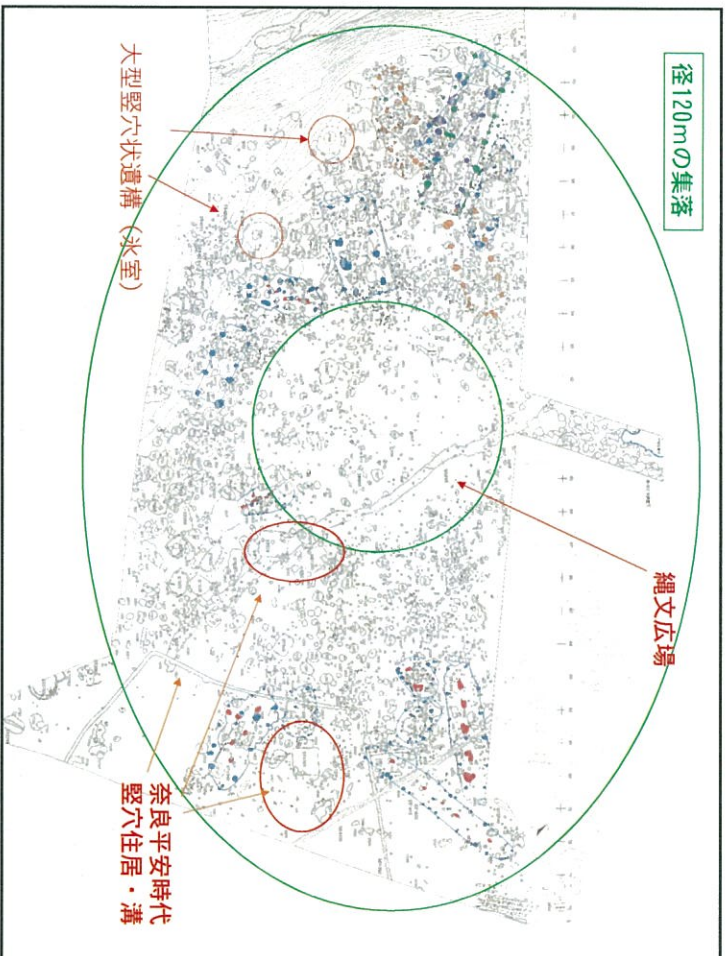


古墳周溝墓
方形周状況
検出状況
4世紀～6世紀

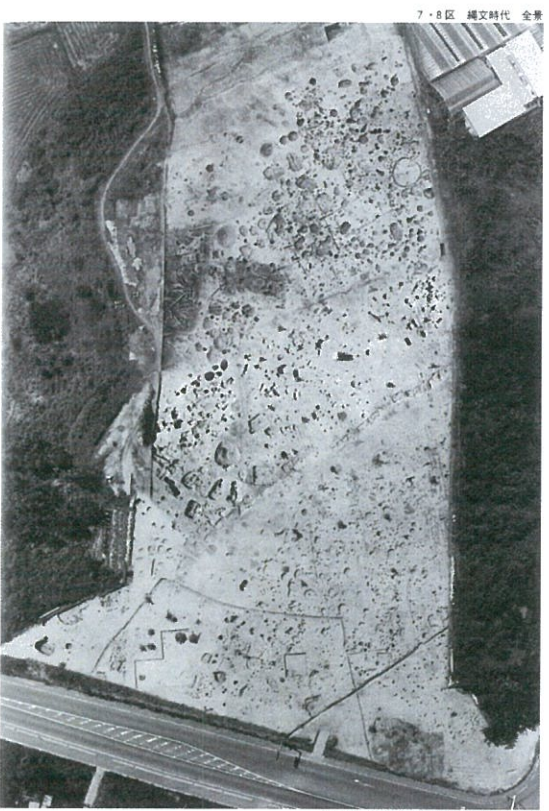
縄文時代遺構配置図



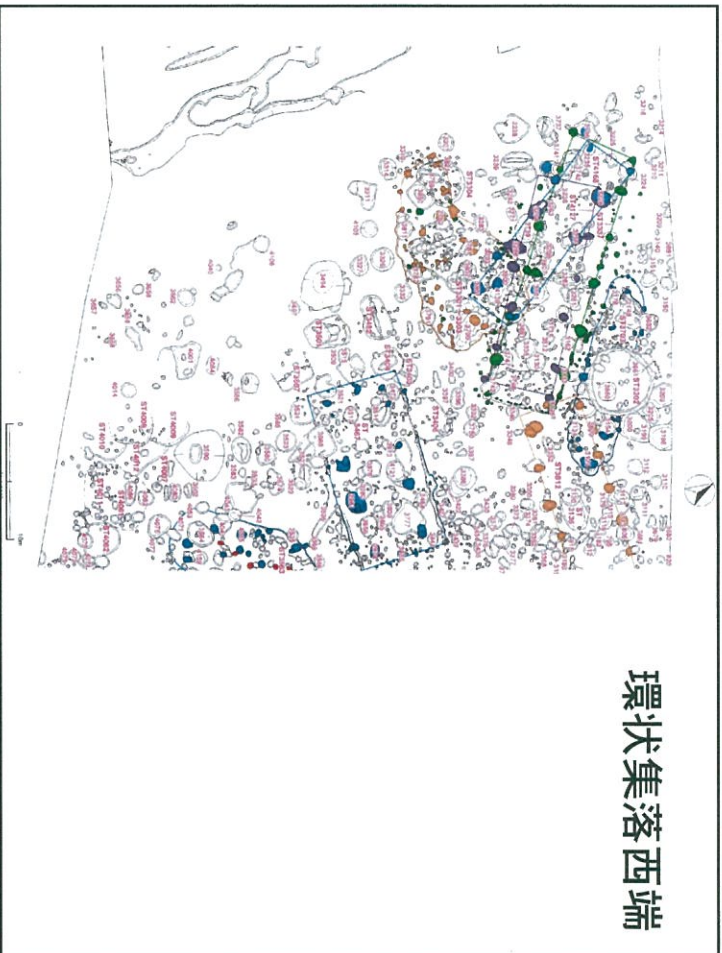
環状集落地区外では縄文の遺構が非常に少ない。
5区に中期垂直住居が見つかった他は土坑・落とし穴
が散見されるのみである。



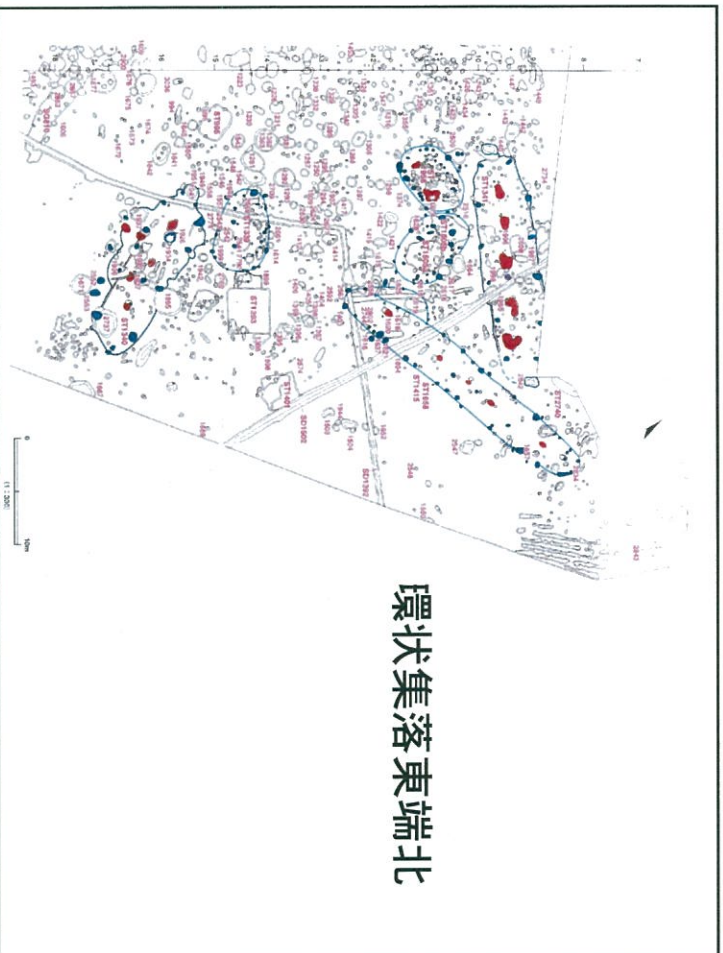
縄文時代環状集落台
成写真



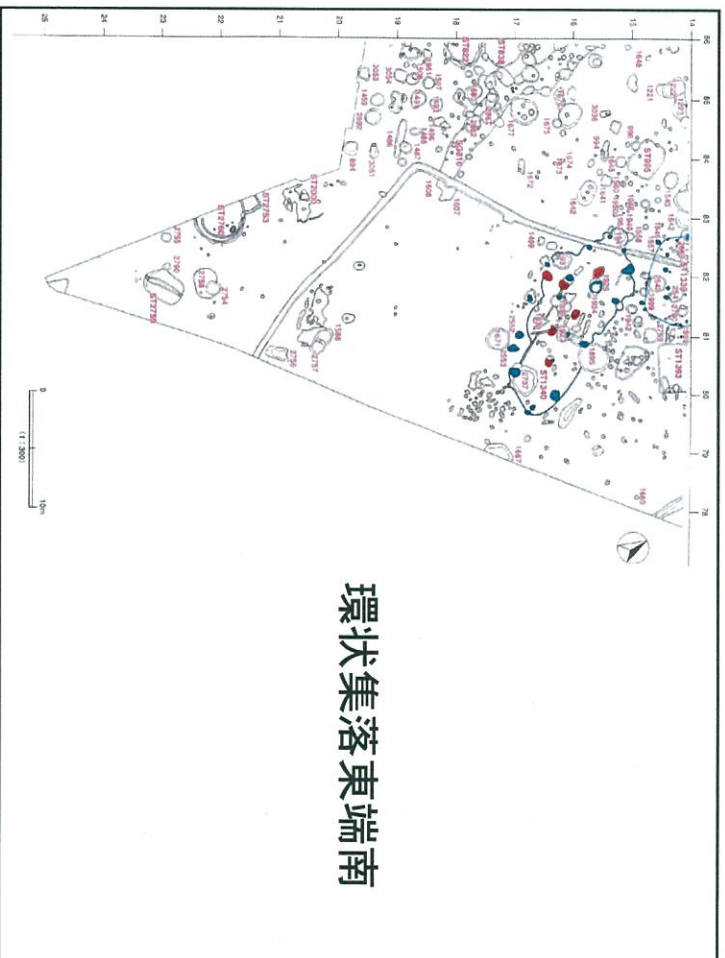
7・8区 縄文時代 全景
7・8区 環状集落台完全景 (上・西) 合成写真



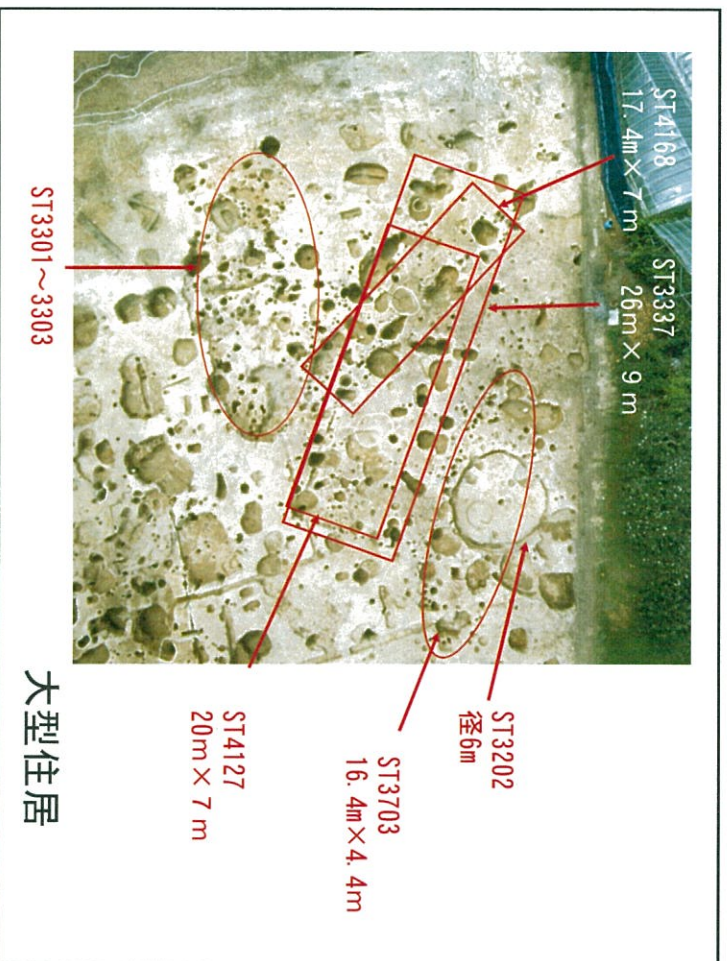
環狀集落西端

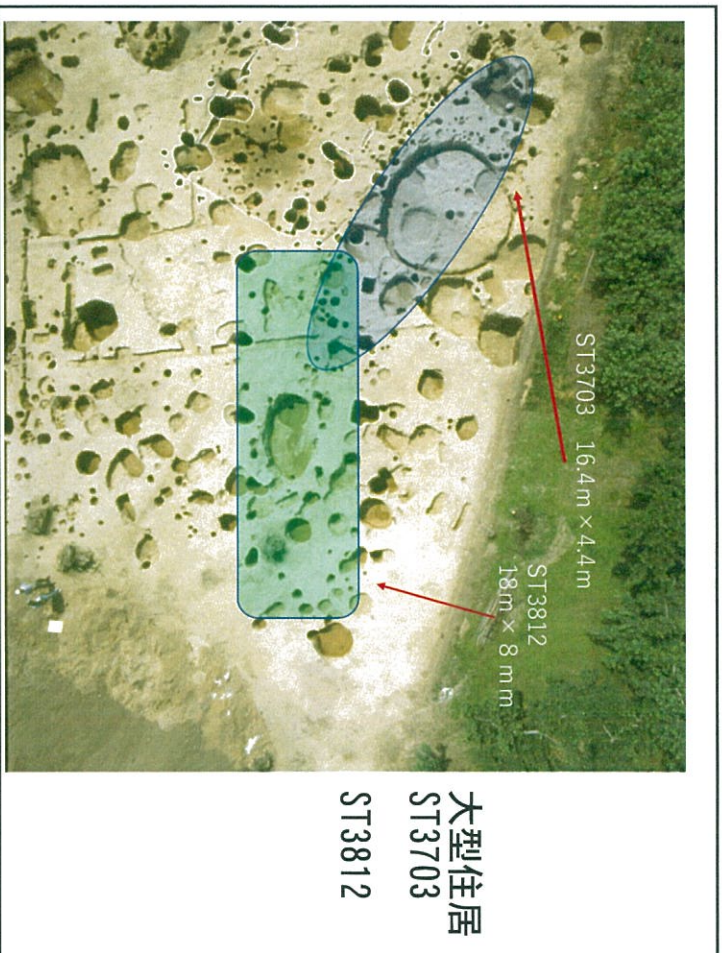


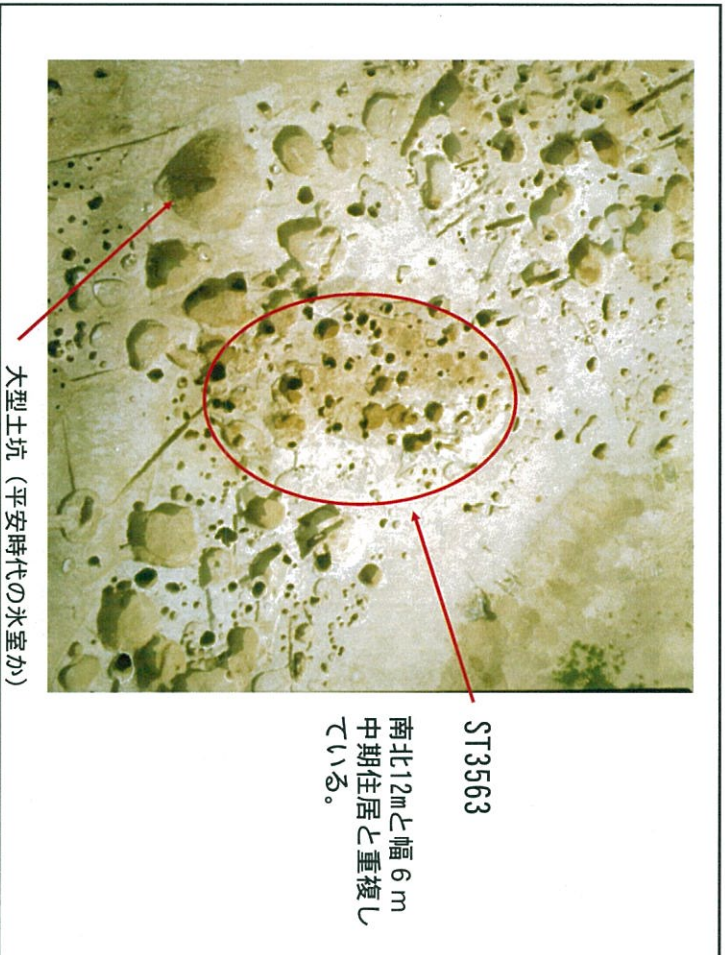
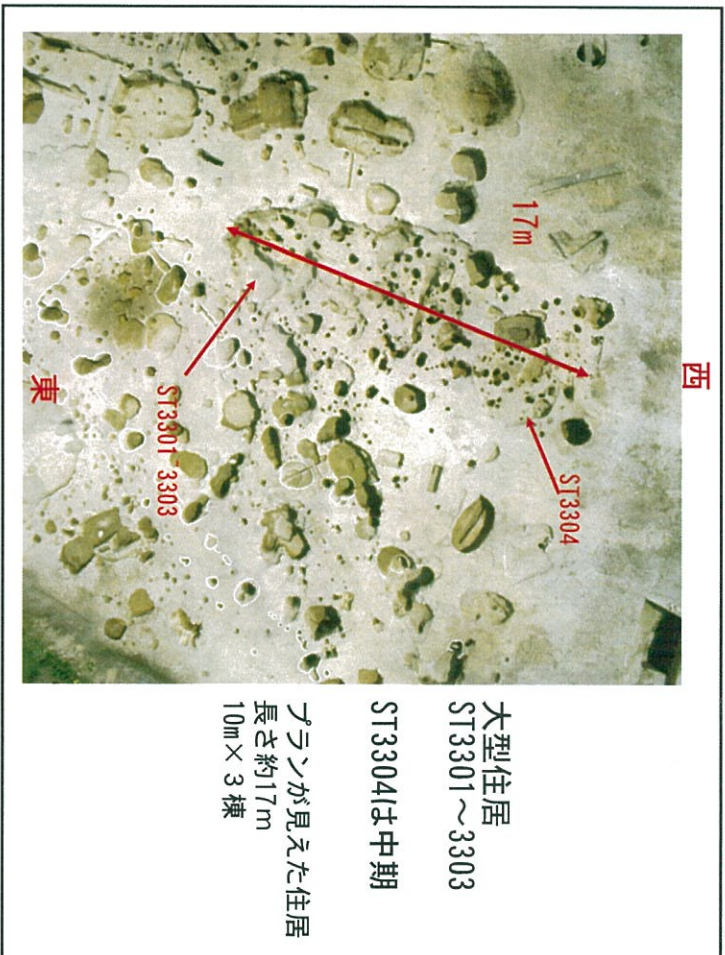
環狀集落東端北



環狀集落東端南

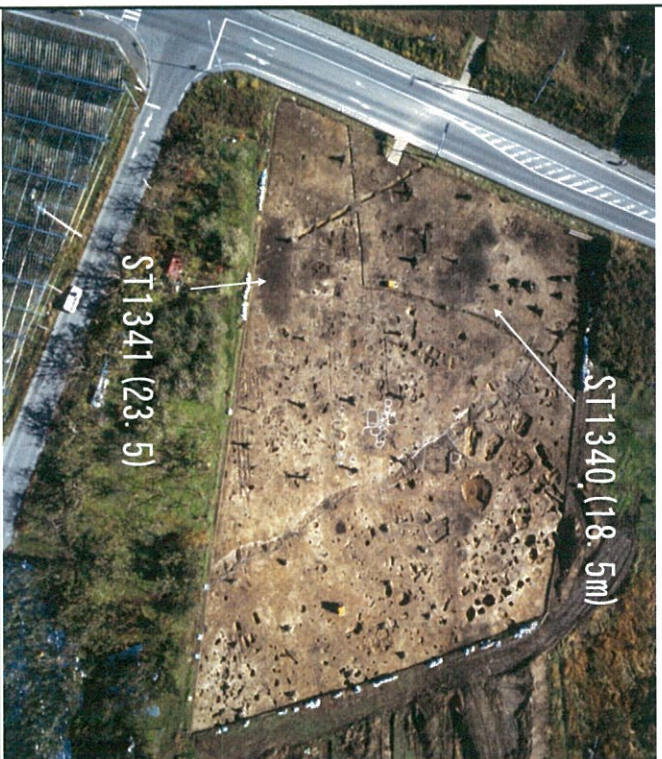




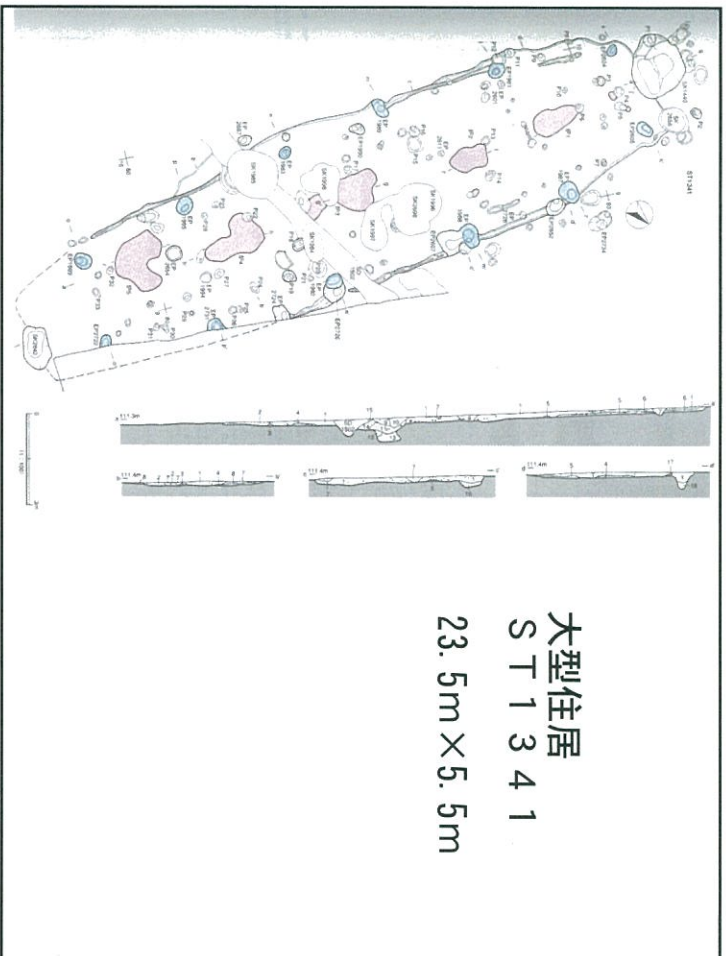




大型住居
ST4036
東西16m幅 6 m
柱穴80cm~120cm



環状集落
東側半分



大型住居
S T 1 3 4 1
23. 5m X 5. 5m



大型住居
S T 1 3 4 0
18. 5m X 5 m

西側の大型住居に最初は気付かなかった

最初は大きい土坑多いー垂直の土坑ー径1m、深さ1m大型多

焼けた土（地床炉）が見つかる

土坑でなく柱穴では？大型住居になるか？

組み合わせてみる

大型建物か？ー 地面焼けているー地床炉



環状集落西側、大型住居・貯蔵穴などが
見つかる。



縄文時代前期の環状集落

- 径120mの環状集落
- 中央部に広場 (遺構が少ない)
- 中央部の外に大小の土坑 - 貯蔵穴 墓壇
- 1m前後の小さなフラスコ状土坑が多数
- 外側に大小の住居群が円形に配置
- 3m～5mの円形楕円形の標準的な住居30軒と10m～20m以上の大型住居が12軒見つかった
- 縄文時代前期後半から前期末葉の集落
土器型式では大木5式期～大木6式期